

## **Are consistent pegs really more prone to currency crises? An analysis using matching estimators**

神戸市外国語大学 江阪 太郎

本稿では、各国が公表した為替制度から実際に採用していた為替制度の乖離（一致）が通貨危機発生に影響を与えていたかを分析する。特に、Consistent pegs 政策（公表したペッグ制を実際にも採用する政策）の通貨危機発生への影響について分析する。そこで本稿では、為替制度選択におけるセルフセレクション・バイアスを除去するために、Abadie and Imbens (2006) の the bias-corrected matching estimators を用いて、Consistent pegs 政策の通貨危機発生への平均トリートメント効果を推定した。分析結果によれば、Consistent pegs 政策は他の為替政策に比べて、通貨危機発生確率を統計的に有意に低下させていた。なお、Propensity score matching を用いた分析や様々な頑健性のテストを行ったが、この結果は変わらなかった。